

IMF「世界経済見通し」(2021年7月時点)

2021年7月29日

～IMFは2021年の世界の経済成長率見通しを据え置き 2022年の見通しは上方修正～

◆ 概要

IMF（国際通貨基金）は7月27日に発表した「世界経済見通し」で、2021年の世界の経済成長率（実質GDP伸び率）見通しを6.0%とし、2021年4月に示した数値を据え置きました。

国別では、米国などの先進国の見通しを引き上げる一方で、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻な新興国の見通しを引き下げ、経済回復の格差が拡大していると指摘しました。またその背景として、先進国では人口の40%近くがワクチン接種を完了しているのに対し新興国ではその割合が11%（7月19日現在）にとどまっていること、先進国では財政支援が継続しているのに対し新興国では大半の対策が2020年中に終了したことなどを挙げました。

一方、2022年の世界の経済成長率見通しについては4.9%と2021年4月に示した数値から0.5%上方修正し、その背景として、米国で2021年後半に追加財政支援の立法化が見込まれていること、より広く先進国全体で医療指標の改善が見られることなどを反映したとしました。

また、最近の物価上昇圧力は、主としてパンデミックに関連した異例の動きと一時的な需給ミスマッチを反映したもので、物価上昇率は2022年には大半の国でパンデミック以前のレンジを回復することが見込まれるとした上で、主要中央銀行は一時的な物価上昇を容認し、当面は引き締めを回避すべきであるとの認識を示しました。

なお、依然世界的に下方リスクは大きいとし、感染力の強いウイルス株の出現によるパンデミックの悪化と性急な金融政策の正常化が重なれば、新興国を中心に経済回復に深刻な後退が生じる可能性があるとも指摘しました。

◆ IMF「世界経済見通し」(2021年7月時点)

	2020年	IMF見通し			
		2021年	前回は	2022年	前回は
世界	-3.2%	6.0%	0.0%	4.9%	0.5%
先進国	-4.6%	5.6%	0.5%	4.4%	0.8%
米国	-3.5%	7.0%	0.6%	4.9%	1.4%
日本	-4.7%	2.8%	-0.5%	3.0%	0.5%
ユーロ圏	-6.5%	4.6%	0.2%	4.3%	0.5%
新興国	-2.1%	6.3%	-0.4%	5.2%	0.2%
中国	2.3%	8.1%	-0.3%	5.7%	0.1%

(出所)IMFのデータをもとにJP投信株式会社作成

以上

【ご留意事項】

- 当資料は、JP投信が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

JP投信

商号:JP投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2879号
加入協会:一般社団法人投資信託協会

- 当資料は、JP投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。